

地域振興・機体活用プロジェクト『空恋』“食♡おおいた県南 うすきつくみきてくださいき号”

ソラシドエアと大分県南エリア 3 市が包括的連携協定を締結！

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、2022 年 7 月 29 日(金)、大分県南エリア(臼杵市・津久見市・佐伯市)と地域社会発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結しました。

大分県南エリアは、ソラシドエアの地域振興 機体活用プロジェクト『空恋～空で街と恋をする～』の 28 番目のパートナーとして、2020 年 10 月から約 1 年半の間“食♡おおいた県南 うすきつくみきてくださいき号”を運航しました。

ソラシドエアと大分県南エリアは、空恋プロジェクトを通し、大分県南エリアの魅力をご搭乗のお客様をはじめ、全国のみなさまへ PR すると共に交流を深めてまいりました。

このたび“食♡おおいた県南 うすきつくみきてくださいき号”が約 1 年半のフライトを終えたことを契機に、包括的連携協定を締結する運びとなりました。ソラシドエアと大分県南エリアは、今後も一層連携を強め、観光や地域産業、地域文化の振興、地域貢献を目的として、エアラインと自治体が相互連携した様々な取り組みを行ってまいります。



【締結式の様子】左から、川野 幸男 津久見市長、中野 五郎 臼杵市長、田中 利明 佐伯市長、高橋 宏輔 ソラシドエア代表取締役社長

◆空恋プロジェクト：<https://www.solaseedair.jp/campaign/sorakoi/>

<大分県南エリア(臼杵市・津久見市・佐伯市)のご紹介>

九州と四国の間の海峡・豊後水道に面した大分県南エリアは、複雑なリアス海岸が魚の生育に最適のため、海産物が特産です。臼杵のふぐ、津久見のマグロ、佐伯の寿司は自慢の一品です。

臼杵市は、国宝・臼杵石仏が鎮座し、江戸時代に栄えた美しい城下町が残る、歴史と文化のまち。醤油やみその醸造でも知られます。名物のトラフグの刺身はやや厚めで弾力のある独特の歯応え。鮮度の良いふぐは薄く引けないため、この厚みは新鮮な証拠です。

津久見市は江戸時代に始まり今も現役の石灰石鉱山を有するまち。リアス海岸の入江を活かす観光施設『つくみイルカ島』はエサをやったり一緒に泳いだりと、イルカと触れ合って遊べる体験型施設です。また遠洋マグロ漁の基地として栄えた保戸島伝統の漁師飯『津久見ひゅうが丼』も有名です。

佐伯市は緑深い山々、番匠川の清流、豊饒の豊後水道と、山川海の自然に囲まれたまち。県の南端で宮崎県との県境に位置します。年間 350 種以上の魚介類の水揚げは日本屈指。新鮮さはもちろん、ネタの大きさや細工など各店で個性を競う『佐伯寿司』が人気です。



<これまでの共同取り組み内容>

1. 機体の前方搭乗口付近には、臼杵のふぐと『ほっとさん』、つくみのまぐろと『つくみん』、佐伯の寿司と『ごまだし大将』のデザインを配置し、機体後方左右にも同市のキャラクターと名物を描き、食の魅力をアピールするデザイン
2. ソラシドエア公式 SNS を使った情報発信
3. 機内誌ソラタネへ大分県南エリアの観光やグルメに関する記事掲載
4. イベント情報パンフレットを大分空港到着ロビーへ設置



<機体ラッピング デザイン>